

WBEMTestによるコネクタサービスのWMI接続のテスト

内容

[はじめに](#)

[WMI接続のテスト](#)

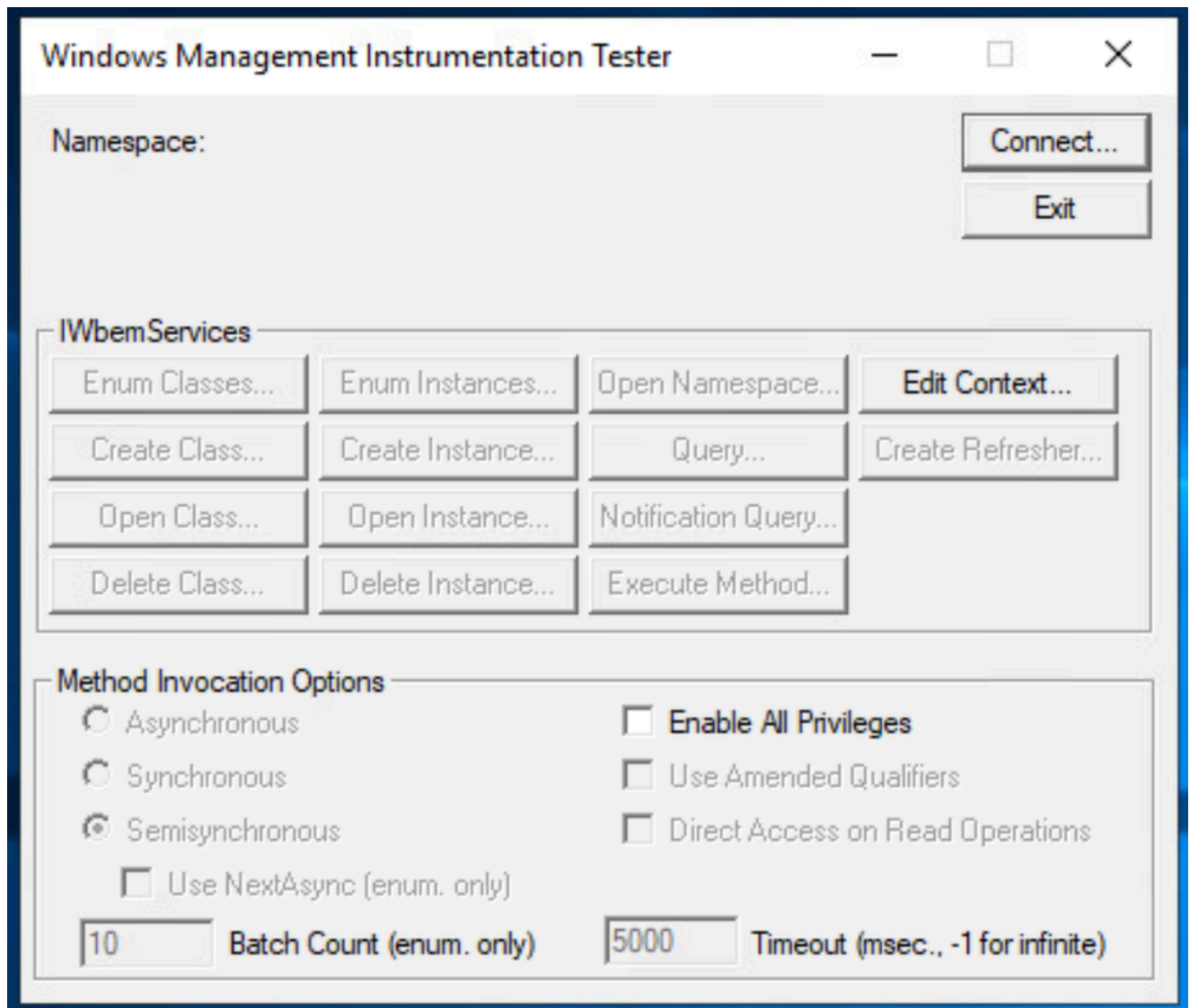
はじめに

このドキュメントでは、WBEMTestを使用してコネクタサービスのWMI接続を手動でテストする方法について説明します。

WMI接続のテスト

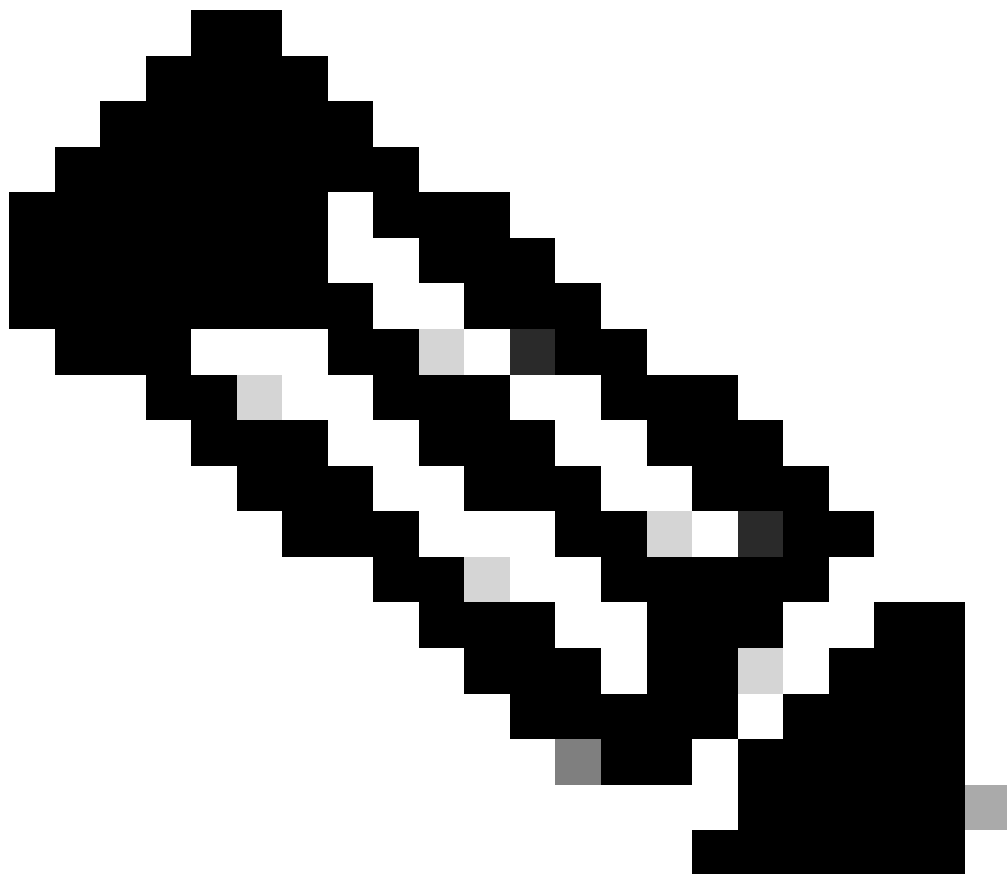
コネクタサービスは、WMIを使用してDCに接続し、イベントを収集します。これらの接続のアクセス許可が設定されていない場合は、ダッシュボードに「アクセス拒否」エラーが表示されます。このテストは、コネクタを実行しているコンピュータで実行する必要があります。WMI接続を手動でテストする手順は次のとおりです。

1. Start > Run > WBEMTest > OKの順にクリックします。次の画面が表示されます。



24075613964308

2. [Connect] をクリックします。
3. 問題が発生しているDC、またはテストの実行を指示したサポートのDCを選択します。これは、このテストを実行しているマシンとは別のマシンである必要があります。
4. 接続しようとしているIPを\\192.168.10.1\root\cimv2の形式で入力します。ホスト名は使用しないでください。



注：コネクタがインストールされているマシンと同じマシンでWBEMTestを実行します。この手順では、リモートDCに接続します。

-
5. クレデンシャルで、OpenDNS_Connectorユーザとパスワードを使用します。

Connect

Namespace

\\10.122.170.2\root\cimv2

Connect

Cancel

Connection:

Using: IwbemLocator (Namespaces)

Returning: IwbemServices

Completion: Synchronous

Credentials

User: OpenDNS_Connector

Password: xxxxxxxxxxxx

Authority:

Locale

How to interpret empty password

NULL

Blank

Impersonation level

Identify

Impersonate

Delegate

Authentication level

None

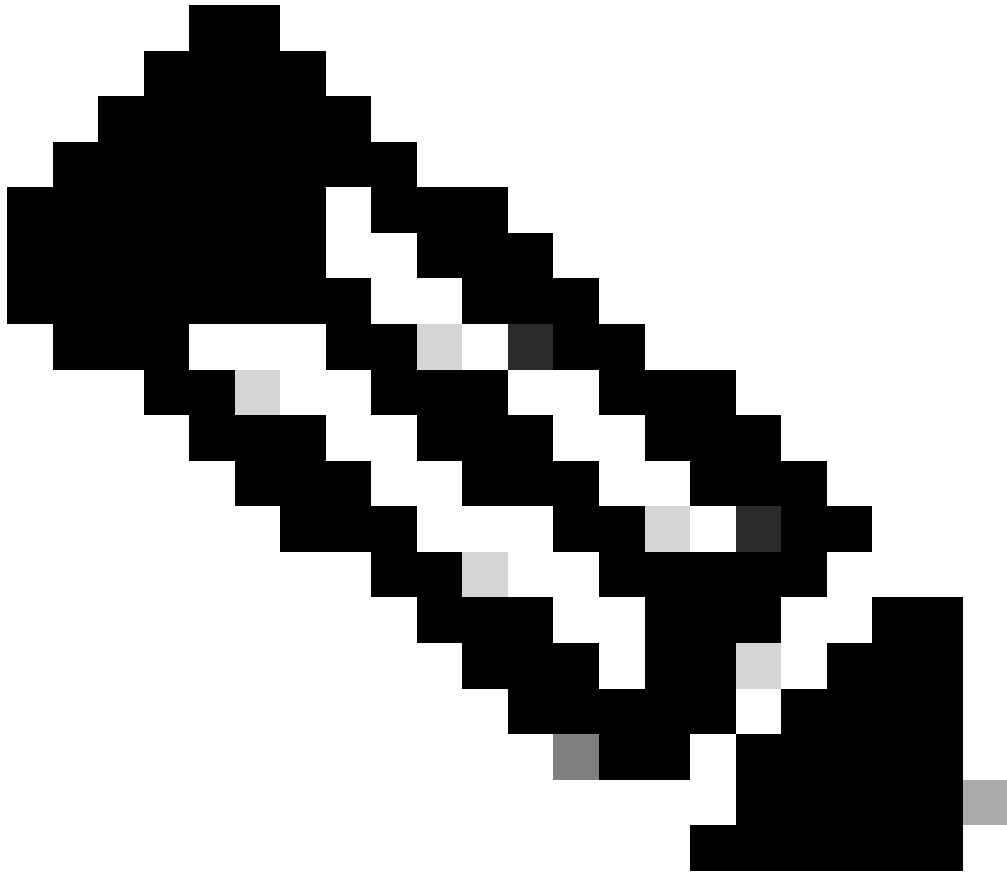
Packet

Connection

Packet integrity

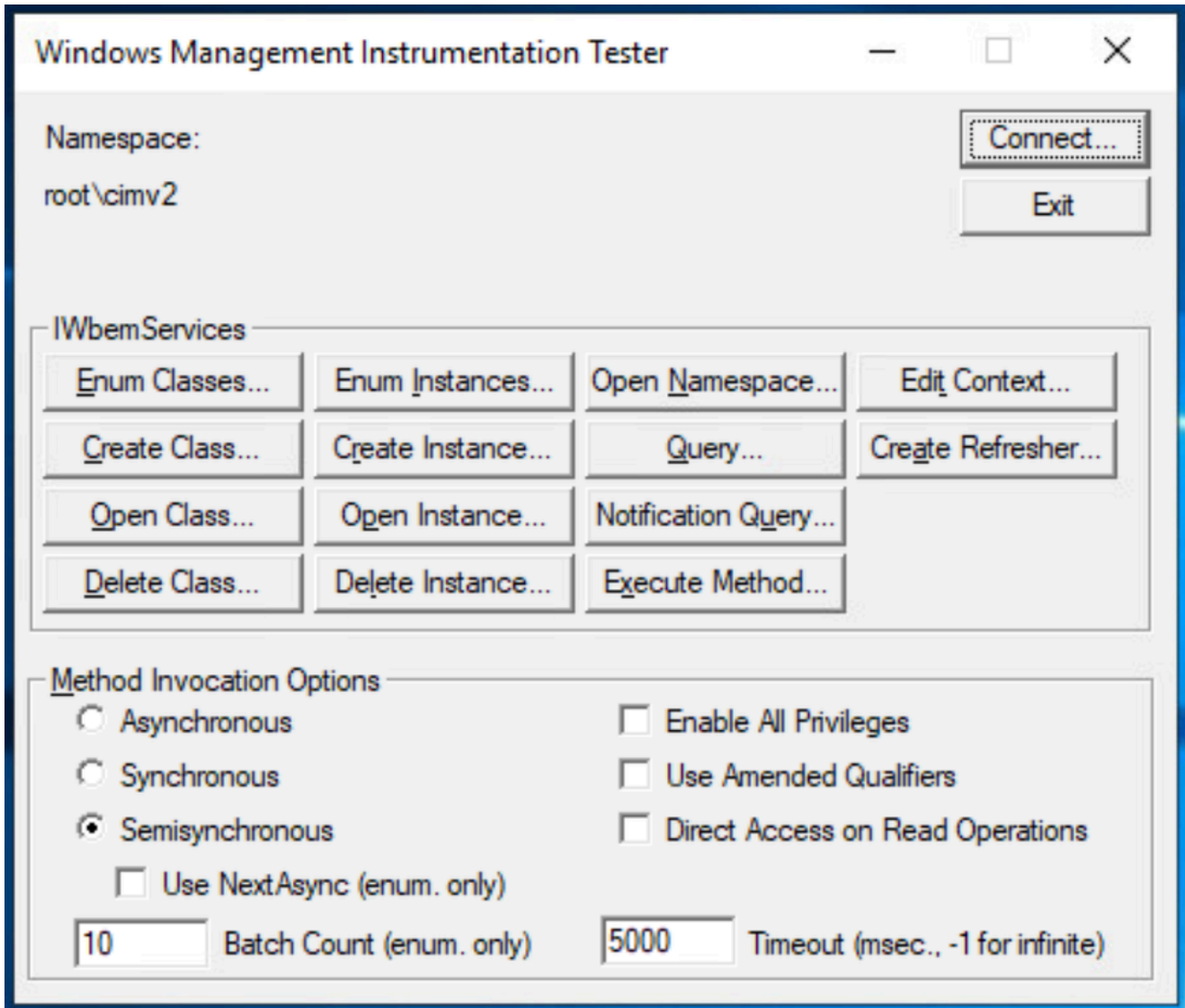
Call

Packet privacy

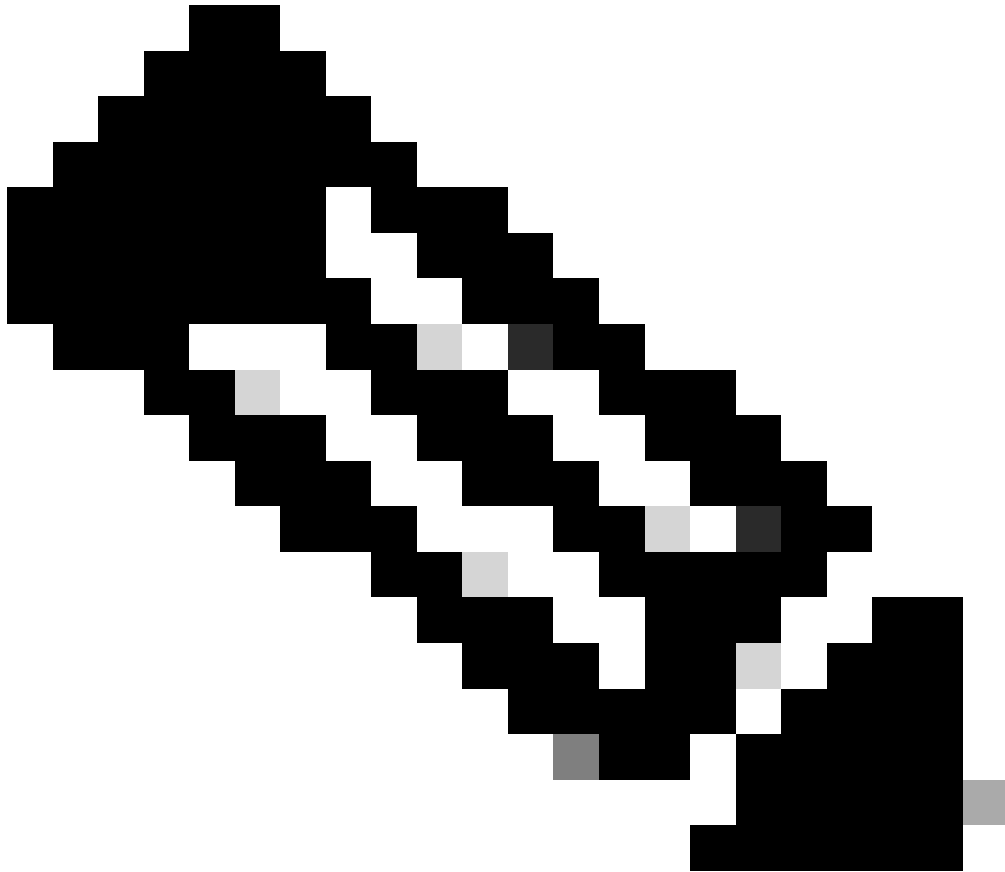


注：このテストをDCで直接実行するには、名前空間として「root\cimv2」を使用し、ユーザ名とパスワードのフィールドを空白にしてください。

6. [Connect] をクリックします。



24075613972756

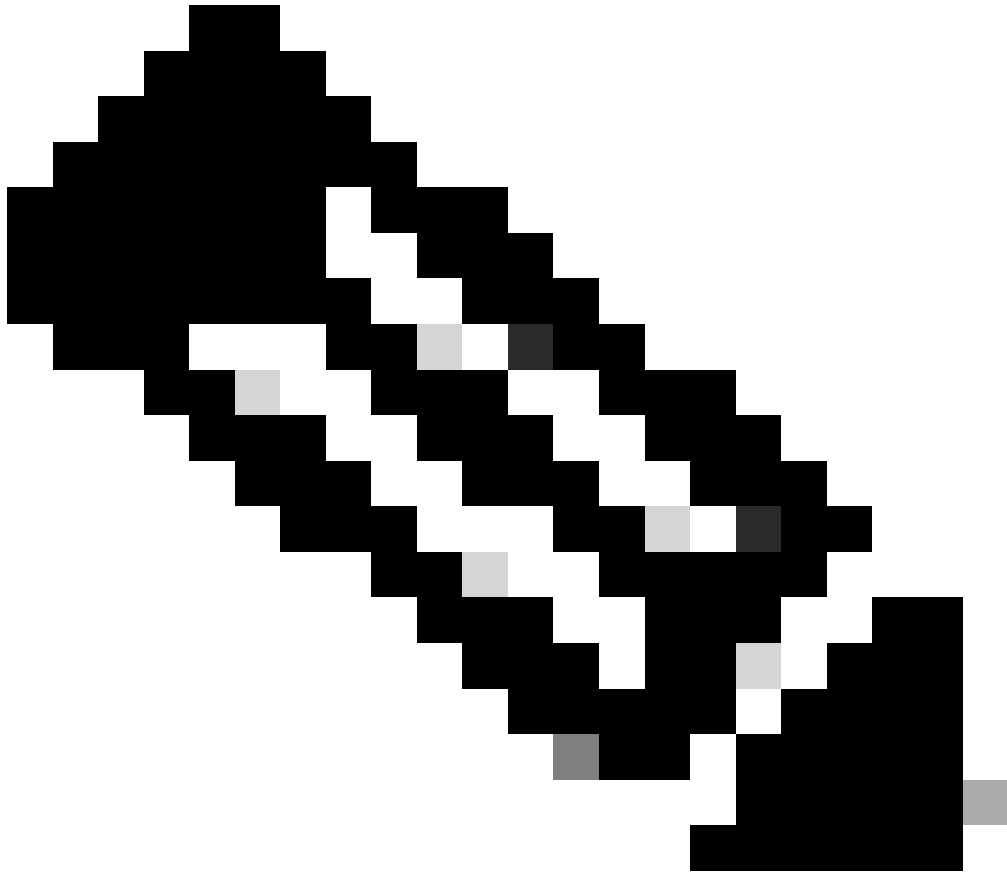


注：注：「Access Denied」エラーが表示された場合は、WMIおよびDCOMのアクセス許可を確認してください。変更した場合、DCOMの再起動が必要です。アクセス拒否に関する記事はこちらをご覧ください。

-
7. Notification Queryをクリックします。
 8. 次の内容を白いテキストボックスに貼り付けます。

```
SELECT * FROM __InstanceCreationEvent WHERE TargetInstance ISA 'Win32_NTLogEvent' and TargetInstan
```

9. [APPLY] をクリックします。



注：アクセス拒否エラーが表示された場合は、こちらのヘルプ記事を使用して、イベントログリーダーグループがイベントログにアクセスできることを確認してください。

-
10. すべてが正しく動作している場合は、次の図に示すように、オブジェクトが表示されます。それ以外の場合は、WMIアクセス許可がないか、リモートサーバーへの接続に問題があります。

Query Result

WQL: SELECT * FROM __InstanceCreationEvent WHERE TargetInstance IS

Close

42 objects

max. batch: 10

Operation in progress...

__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>
__InstanceCreationEvent=<no key>

Add

Delete

24075601961620

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。